



# 12月の園だより

発行年月日

2024年11月29日



あそびっこでは たくさんのご協力・ご参加ありがとうございました。

いいお天気に恵まれた「あそびっこ」では たくさんのご参加いただきありがとうございました。初めての参加の方、数年目の方、お祖父ちゃんお祖母ちゃんとして何十年ぶりの参加となった方それぞれに子ども達といっしょに ほくぶの自然を満喫出来たでしょうか。日ごろ忙しい時間の中で見る景色と ゆっくり子ども達と周りの方もいっしょに関わる自然は温かさを感じられたことかと思えます。これから大きくなっていく子ども達にとってこういう経験は心の大きな栄養になっていくことを信じご家族にとっても思い出の宝箱の中の一つになればな・・と願います。12月はお正月の準備をする大人の傍らでその雰囲気を感じながら過ごす月にもなるかと思えます。幼稚園では 古来の「臼と杵」で餅をつき飾り、食します。伝統行事に触れていく冬の季節を楽しんでいきます。急に寒さも増す時期にもなります。皆さん 身体も気をつけ 良い年越しとなりますように。

## 《行事予定》

- 12月3日【火】 園外保育ぞう組 オオヤブデイリーファーム
- 12月4日【水】 園外保育きりん組 オオヤブデイリーファーム
- 12月6日【金】 (年長) 魚の解体ショー 園外保育うさぎ組 子飼商店街
- 12月10日【火】 園外保育ぱんだ組 子飼商店街/親子絵本貸し出し
- 12月18日【水】 クリスマス会
- 12月20日【金】 餅つき会
- 12月24日【金】 教育時間終了日 《1号児13時降園・往復バス運行有》
- 12月25日～27日 2・3号児 冬季保育
- 12月28日【土】 保育終了日です。
- 12月29日～1月3日 年末年始お休みです。→1月4日(土)の土曜保育より保育開始します。
  - 2024年1月6日【月】 新年2・3号児保育始まりの日
  - 1月8日【水】 教育時間開始 《1号児 13時降園・往復バス運行有》

～おひさまネットさんお世話になります～

- ◇ 12月4日【水】 運営委員 定例会
- ◇ 12月10日【水】 親子絵本貸し出し
- ◇ 12月11日【水】 卒園委員会
- ◇ 12月11日【水】 読み聞かせの会 (年少)



今年度の観劇は人形劇「ひつじのカンパニー」さんによる「カッパの雨乞い」は、1月15日に行います。生の舞台の感動を子どもたちに味わってもらいたいと毎年 色々な観劇を検討し取り組んでいます。おひさまネットさんより 観劇代として出資いただきます。未満児クラスの方は、2月4日音楽を楽しみます。ご夫婦で音楽家「おとのわ」さんの優しい歌声と多国籍の楽器の音色を楽しみます。

## ●冬の防寒についておねがい●

- ・寒さも厳しくなる季節です。ほくぶ幼稚園では、カイロの使用は子どもたちの安全のため、**使用禁止** といたします。また、**手袋やニット帽**は登園されましたら保護者の方がお持ち帰りください。防寒着に 関しましても、**フードや紐付き**の洋服は遊具等に引っかかることもあるため、着用をお控えください。

# あそびっこ

## ありがとうございました！



結局散歩で終わってしまったのですが、考えてみると、日々時間に追われているので、ゆっくり散歩するのはあそびっこの年に一回くらいいかもと思いました。



最近、葉っぱ〜とよく言っているのですが、葉っぱをたくさん取るかな？と思いきや、お散歩バックの中はこどもの森で取った石でいっぱいでした！笑



今日は親子で楽しめます！



短い時間でしたが、日頃できないような体験もできて楽しそうな姿も見れて良かった





どんぐりのやじろべえがお気に入り、家でもずっと持ち歩いています。



あそびっ子デビューしました！



最後のあそびっこ、楽しい体験が、いっぱいできて、親子共々、いい思い出です！シュロの葉で、バッタ作りが一番楽しかったみたいです！



染め物をして相撲を取ってバッタを取って焼き芋食べて親子で楽しめました。



お花の水やりと葉っぱのプール 色々な葉っぱと水をすり鉢に入れてゴリゴリするのが楽しかったようです！





# 秋の未満児さん こんなに大きくなりました！

大切な人格の根っこが育つ未満児さん・じっくり・ゆっくり・丁寧に日々を過ごしています。

ほくぶ幼稚園の中で1番小さい0歳児《すみれ組》は9名のお友達が大きくなっています。早生まれの子は1歳7か月になり、子どもの森まで保育者と手をつないで歩いていけるようになりました。1番小さいお友達は10か月。ハイハイがとっても上手です。砂場に座り込んで満面の笑顔です。保育者はそれぞれの発達に寄り添って一人一人を支えています。



「寝る・食べる・遊ぶ」がとっても大切です。

**「何でもやってみたい」0歳児さんの意欲は 愛着の形成が基礎の力となります。**入園したての頃から子ども達と保育者が同じ物を見て共感し、大変大切な【指さし】行動がみられるようになったら 指差しの先の事柄を言葉にして会話しています。じっくりしっかり関わりながら育ちを支えています。



自然の中で土の感触・香り・発見など原体験を通して感性を育みます。

1歳児《たんぼぼ組》20名(昨今 働くお母さんがぐっと増えています。)今年度は更に保育室を広げて生活しています。特に0.1歳児さんは月齢の差で随分と生活や遊びの様子も変わりますので2グループに分けてそれぞれに生活しています。自分で出来る毎日の生活の時間もゆっくりとりながら遊びの時間はどんどん活動も広がってきました。1歳半頃になると自我が芽生え自己主張(自分の存在をアピールし自分を尊重してほしいという要求表現です。)が出来るようになります。私たちは自我を育てていると考えて 大切に「いやいや期」真っ只中の子ども達にあたっているのです。以上児になると《自分で考える》という言葉をよく使いますが、まずはその自分の尊厳を大切に太く育ていけるように寄り添って生活をしています。その中では友達とのぶつかり合いも必然的に起こってしまいます。(けがをさせぬよう 友達との交流をさせない保育のスタイルもあります。)大きな怪我に繋がらないように工夫を行っています。かつ 一人一人の自己主張も受け止めて育てている保育に是非温かいご理解をいただければ幸いです。



低月例児(白たんぼぼグループ)室内にてお友達も私もお人形をだっこしてうれしくてたまりません。

2歳児《ちゅうりっぷ組》は29名です。満3歳児1号児さんと3号児さんの混合クラスです。洋服の着脱や排泄の自立、食事の意欲など 一人一人個人差を大切にしながら取り組んでいます。自分の事が「一人で」「自分で」と随分と出来るようになってきました。体力もつき近頃は友達と二人組が出来るようになり、手をつないでお散歩も出来るようになりました。



1歳高月例児(きいろたんぼぼ組)近頃は服の着脱・排泄の自立も進みぐっとお兄ちゃんお姉ちゃんぽくなってきました。

しかし、まだまだ2歳、「お兄ちゃんになったり、赤ちゃんになったりと、揺れ動きながら頑張っていますので激しく泣きわめいたりパニックになってしまったり、長泣きしたりもこの時期です。自分と向き合う時間が必要なもの2歳児さんです。「早く泣き止みなさい。」と感情に蓋をしてしまうのではなく「一生けん命自分と戦っているんだね。」とパニックの原因を探り 葛藤を支えられるようにしています。この時期の「だだこね」は我慢を覚える過程となるようです。



この半年でどんどん足腰もしっかりしてきました。4月は畑までの散歩がこの秋から「カバコース」を歩けるようになりましたよ。



2歳児はごっこ遊びの天才です。なりきって楽しめます。

# 保護者学習会についてのご報告

2024年11月19日(火)9時半～11時 九州ルーテル学院大学 心理臨床学科 准教授の増本利伸先生を講師としてお迎えし、「子どもの困りに気づき、どう寄り添うか」についてお話をいただきました。



九州ルーテル学院大学 准教授 **増本 利伸** (ますもと としのぶ)

(略歴) 1992年より長崎県教員として小学校と特別支援学校に勤務

通常学級、特別支援学級(知的/情緒/肢体不自由)、LD/ADHD等の通級指導教室を担当

公認心理師/特別支援教育士SV/臨床発達心理士

## ★まずは、発達の流れを知ろう!

私たち大人は、生涯にわたって発達を見つめる視点が必要です。

### ◎乳児期(0歳～1歳半)基本的信頼 VS 不信

視覚は未発達で要求を泣いて伝えます。抱っこなどで触れてあげる肌の暖かさを伝えることで安心と信頼関係が生まれます。

### ◎幼児前期(1歳半～3歳)自律性 VS 恥、疑惑

言語能力や尿・便の調節能力が発達し、初めての「我慢」を経験する時期です。尿や便を我慢し、必要なときに排出することは、子どもの「自律性」を育てます。

### ◎幼児後期・遊戯期(3歳～6歳)

#### 積極性 VS 罪悪感

喧嘩をして学んでいき、他人との協力、挑戦する関わりをした方がよく、失敗をすることでイライラを抑制できるようになる。友達との関わりの中で軽く甘噛みなど関わり方を学んでいきます。

## ★共に過ごす親や保育者が関係を作ることで子ども達ものびのび過ごせるようになります。

他者とぶつかるのが子どもの仕事、支えるのが保育者の役目です。

### 【保護者の質問】

怒るとすぐにものを投げてしまう。

怒られたのに何回も同じことをする。

多くの人やいつもと違う雰囲気になんて飲まれてしまう。



まずは、どうしてそのような行動をしてしまうのだろう?と考える。

＝ 応用行動分析

## 応用行動分析とは

その行動をする前に何かきっかけがある→そのきっかけをどうしていくかを考える

<例えば、子どもがしてほしくないことをした時>

・結果に注目して注意(行動を止める)するのではなく、何がそうさせているのか観察し原因(環境)を変えていくことで、してほしくない行動が減っていく。

グループディスカッションでは、一人が図を見て言葉だけで伝え、他の人がその図を描くという難しさを体験しました。身振り手振りなしで言葉のみで伝える体験を通して、言葉だけの指示だと子どもにとっては十分に理解するまでに時間がかかってしまう事がわかり、みんなで学びになりました。



学習会の内容につきましては、資料などもありますのでお尋ねください。

その他、質問や相談などありましたらお気軽にお声掛けください。